

## 自転車利用実態定点調査報告(A地点)

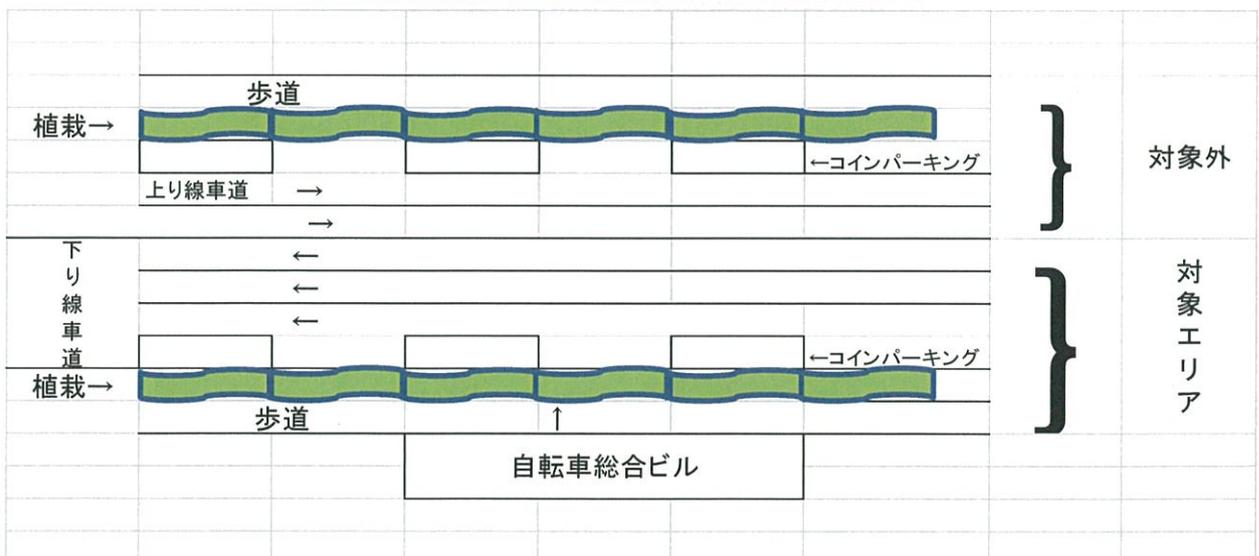
平成28年3月

(一財)日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成28年2月1日～29日  
[午前]9:00～10:00、[午後]13:30～14:30

- 調査場所** ・ 自転車総合ビル前（目黒駅方面に 50m 程緩い下り坂）
- 概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り下り 3 車線[内側 1 車線駐車帯])  
(歩道:幅員 5m・植栽 1.5m～2mのため、実質通行幅 3m～3.5m)
- ・ 調査対象外(車道線:目黒通り上り 2 車線[内側 1 車線駐車帯]及び上り歩道)



**調査事項** 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

No.	走行空間				車種		雨天		危険運転行為						
	車道左側	車道右側	車道中央	歩道	子乗せ	電動	雨	雪	携帯電話	片手運転	立ち漕ぎ	ハンドル	後部座席	その他	
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															

調査日時:	平成	年	月	日( )
天気:				気温:
調査時間:			~	

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、4~35%と多岐にわたるが、平均すると22%程度である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回も、全体の8割程度を占めている。同一地点(個別データ)においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(177件)・ハンドルに荷物(86件)・立ち漕ぎ(56件)・子乗せ後部席に荷物(\*1)(43件)・片手運転(43件/内5件は、携帯電話を使用しながらの運転)・車道右側走行(38件)・歩道上でのスピードの出しすぎ(33件)・過積載(16件)・脇見運転(16件)・ジグザグ運転(14件)等の順となっている。

\*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

## 【総合】

今回は、平成 27 年度第 11 回目の調査となり、平成 27 年 4～平成 28 年 2 月分の 11 カ月期間で様々な点で比較してみた。

- ・利用者別                    今回も、午前が午後の利用者を上回った。
  
- ・車道左側走行率            今回(22.5%)は、11 カ月間中では上位で、2 月・11 月(21.6%)・10 月(21.2%)・12 月(21.1%)・1 月(20.6%)・4 月(18.9%)・5 月及び 6 月(17.9%)・7 月(17.3%)・8 月(15.9%)・9 月(13.6%)の順である。  
                                  なお、午前のデータ(22.2%)も、11 カ月間中では上位で、2 月・11 月及び 10 月(22.0%)・4 月及び 6 月(20.6%)・12 月(20.4%)・1 月(20.2%)・5 月(19%)・7 月(18.4%)・8 月(14.7%)・9 月(12.5%)の順である。  
                                  また、午後のデータ(23.1%)も、11 カ月間中では上位で、2 月・12 月(22.2%)・1 月及び 11 月(20.9%)・10 月(19.9%)・8 月(17.5%)・4 月及び 5 月(16.6%)・7 月(16.1%)・9 月(15.6%)・6 月(14.8%)の順である。
  
- ・子乗せ自転車              今回(24.4%)は、11 カ月間中では上位で、11 月(26.3%)・2 月・10 月(23.4%)・1 月(22.8%)・12 月(22%)・5 月(20%)・4 月(18.4%)・7 月(17.5%)・6 月(16.9%)・9 月(15.7%)・8 月(13.9%)の順である。
  
- ・電動自転車                今回(36.3%)は、11 カ月間中では上位で、11 月(39.2%)・10 月(39.0%)・2 月・1 月(35.9%)・12 月(34.4%)・5 月(27.1%)・4 月(26.5%)・7 月(25.7%)・9 月(25.6%)・6 月(23.9%)・8 月(23.5%)の順である。
  
- ・危険運転行為              上位 3 件別では、今回は、[肩に荷物・ハンドルに荷物・立ち漕ぎ]の順であり、期間中の共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物である。  
                                  一方、下位 3 件別では、今回も、[過積載・脇見運転・ジグザグ運転]の順であり、期間中の共通項目は、該当なし。  
                                  なお、今回も、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体(547 件)の約 5 割(263 件)を占める形となった。  
                                  (危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

また、利用者全体(1278名)における危険運転行為(違反行為を含み 547件)の比率は、割合上(\*2)では、43%となっている。

\*2 実際は、1名で複数の危険運転行為等を実施している件も含まれているため  
なお、今回は、新たな危険運転行為は、発生していない。

平成27年6月に道路交通法が改正され自転車利用者にとっては、交通ルール・マナー等の遵守が徹底された経緯にも拘わらず、改正後の車道左側走行率のデータについては、減少傾向であったが、10~11月は、回復し、その後は、横ばいであった。

そして、今月は、再び回復してきている。

10~11月の期間に回復した秋の交通安全運動の影響(?)に対し、今回は、春の交通安全運動には、時期的に早いものであるが?

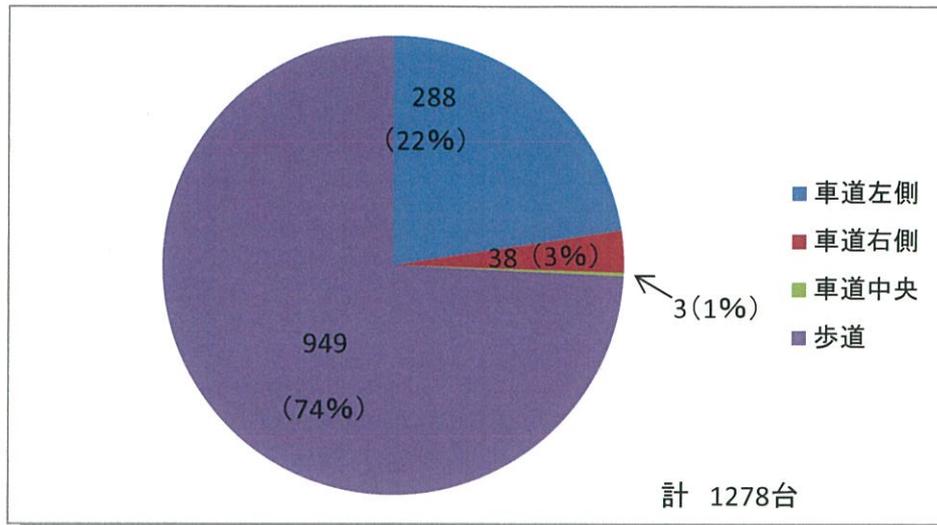
更に、今後の状況に期待したいものである。

今回の雨天時のデータは、合羽着用者(計1人)に対し、傘さし運転者(計1人)と等倍であった。

調査期間が、僅か1日間であったため、データとして乏しい状況であるが。

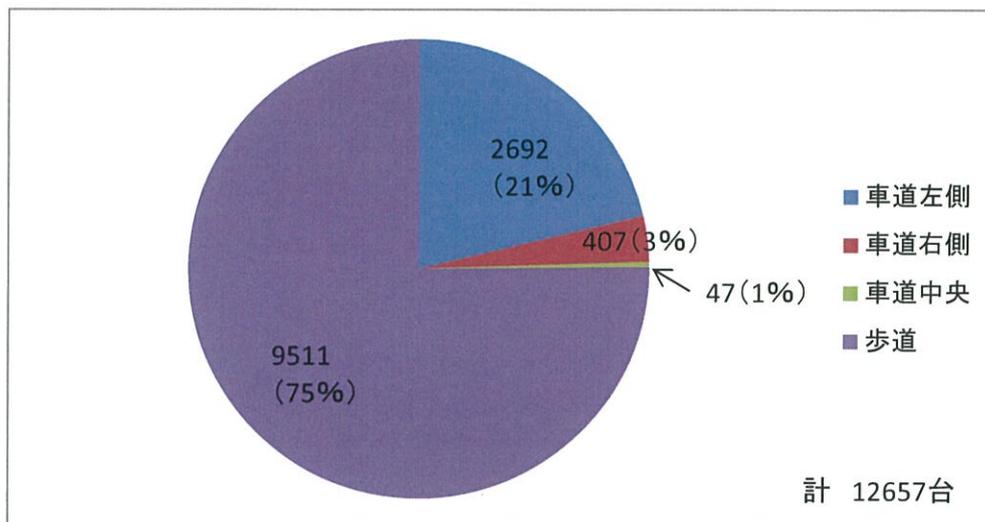
参考として、6月のデータでは、道路交通法が改正された初月でもあり、一部報道で合羽の購買額が増加した経緯もあり、調査期間4日間で、合羽着用者(計25人)は、傘さし運転者(計5人)の5倍であった。

更に、今後の状況に期待したいものである。

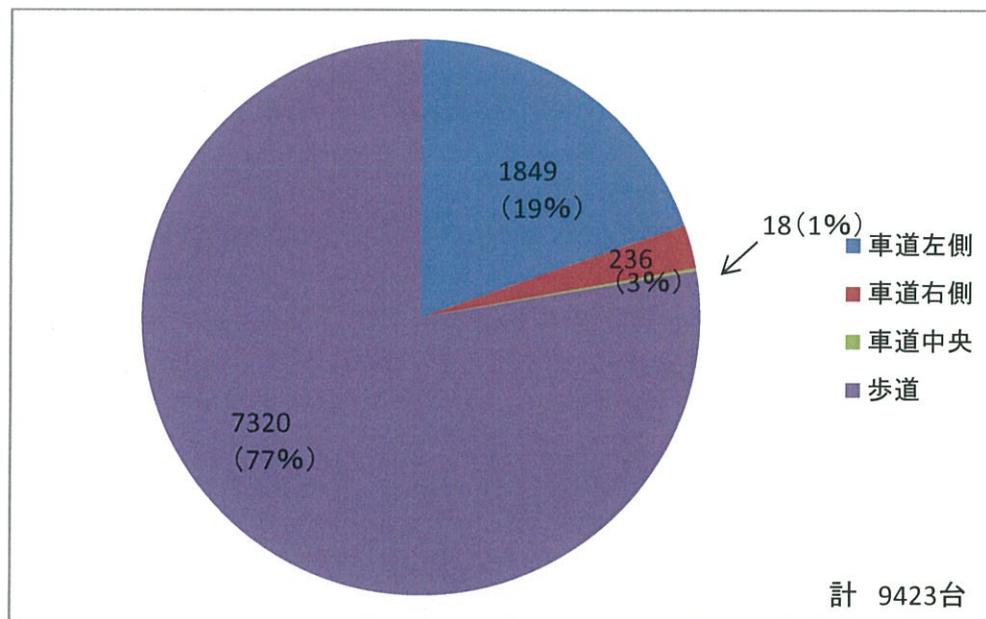


走行空間 調査期間 2/1~29

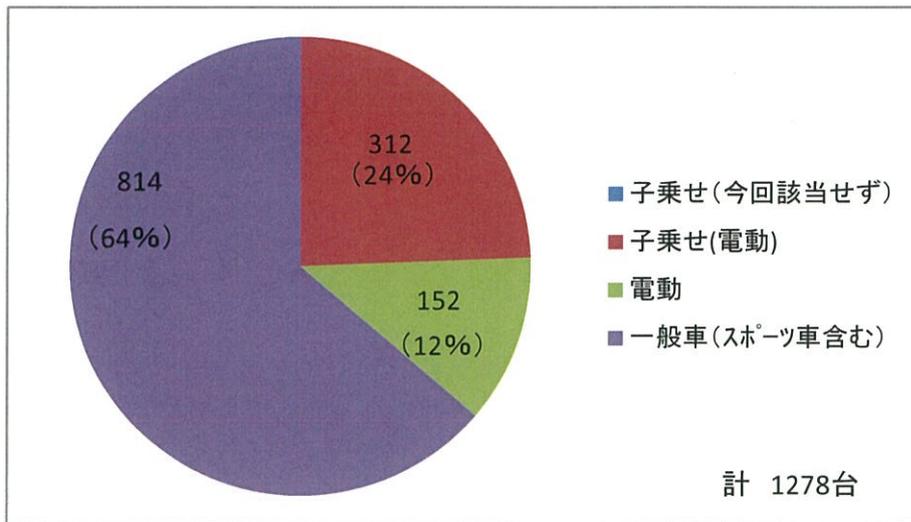
\* 参考)



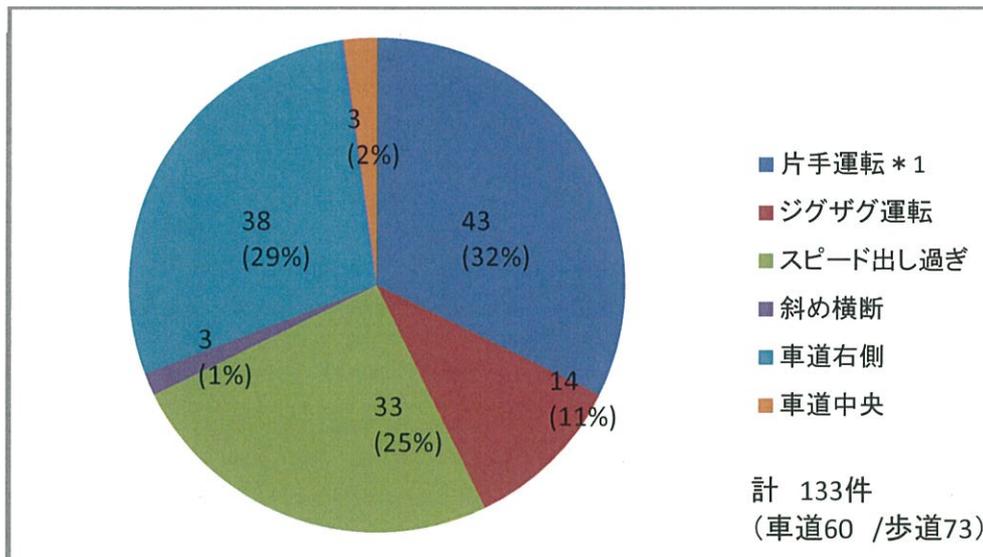
走行空間 調査期間 26.7~27.5 (道路交通法改正前)



走行空間 調査期間 27.6~28.2 (道路交通法改正後)

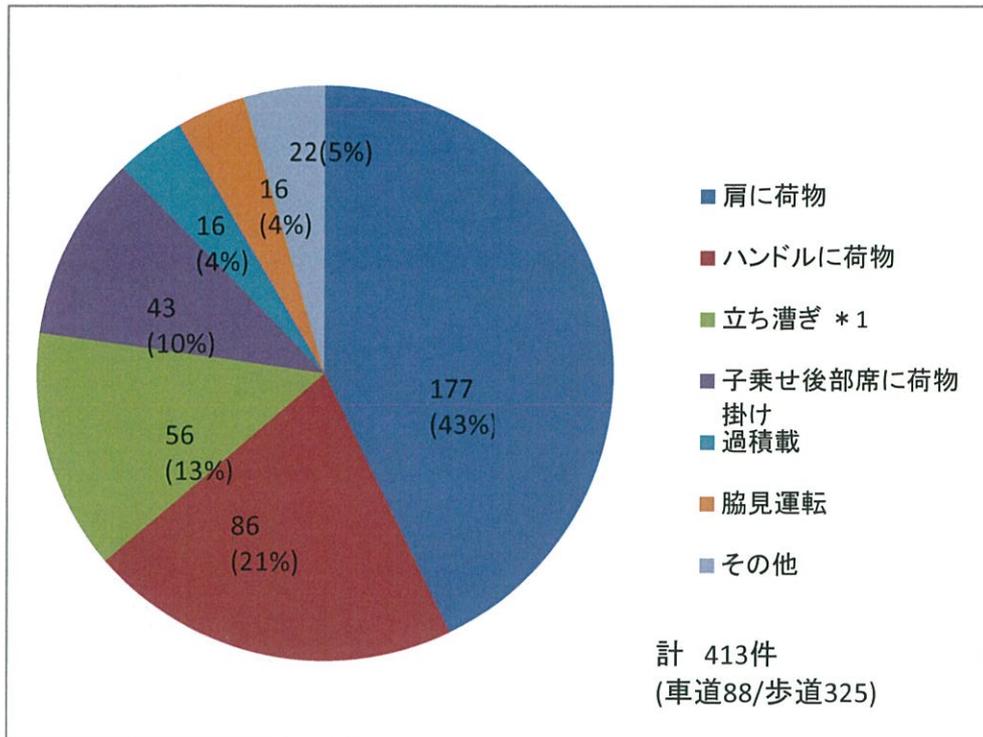


車種 調査期間 2/1～29



違反運転行為 調査期間 2/1～29

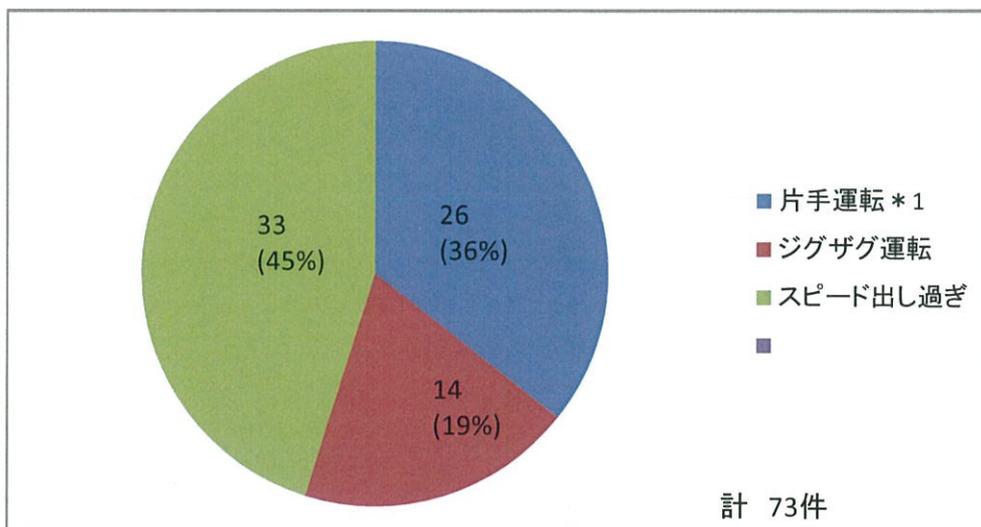
\*1 内5件 携帯電話を使用中の運転



危険運転行為

調査期間 2/1~29

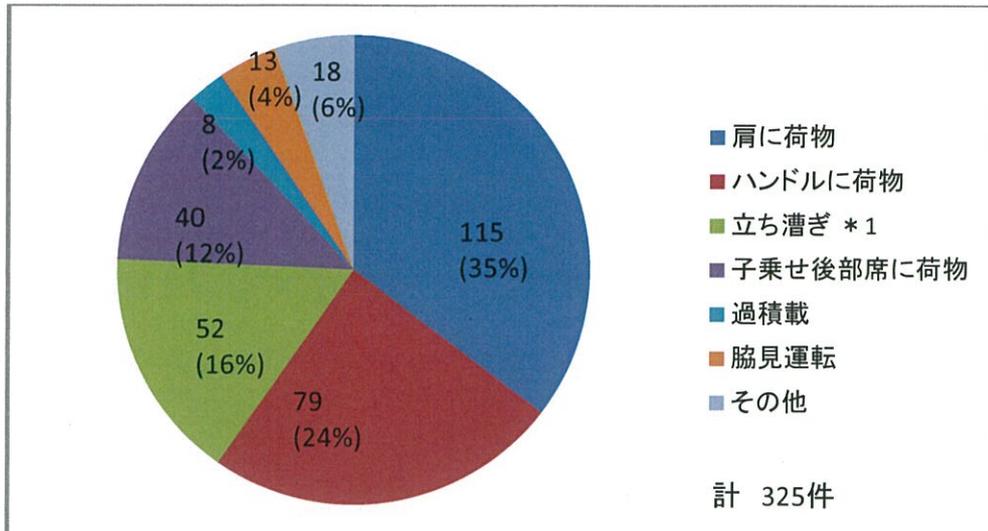
\*1 比率内訳: 上り坂51・下り坂5



違反運転行為  
(歩道上)

調査期間 2/1~29

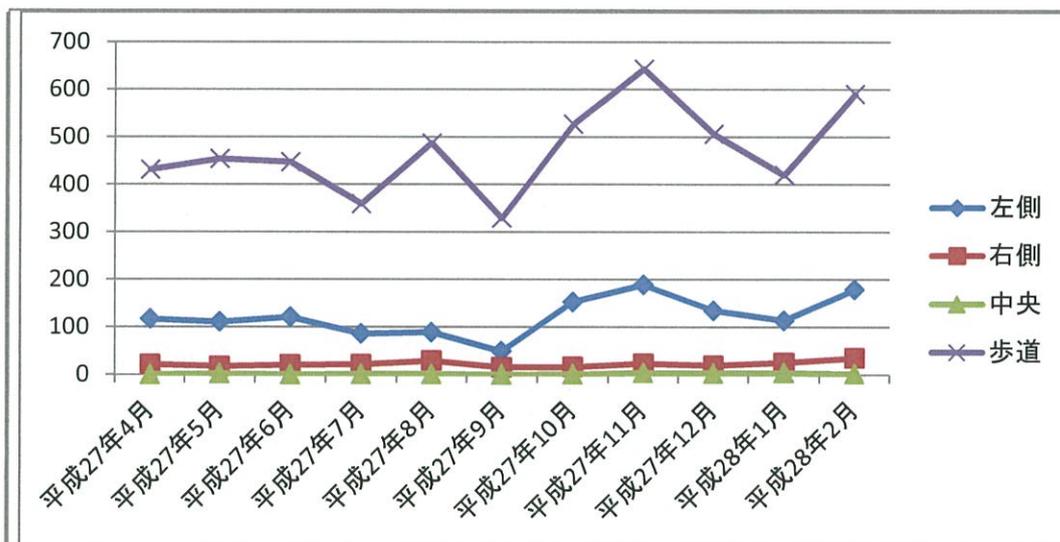
\*1 内3件 携帯電話を使用中の運転



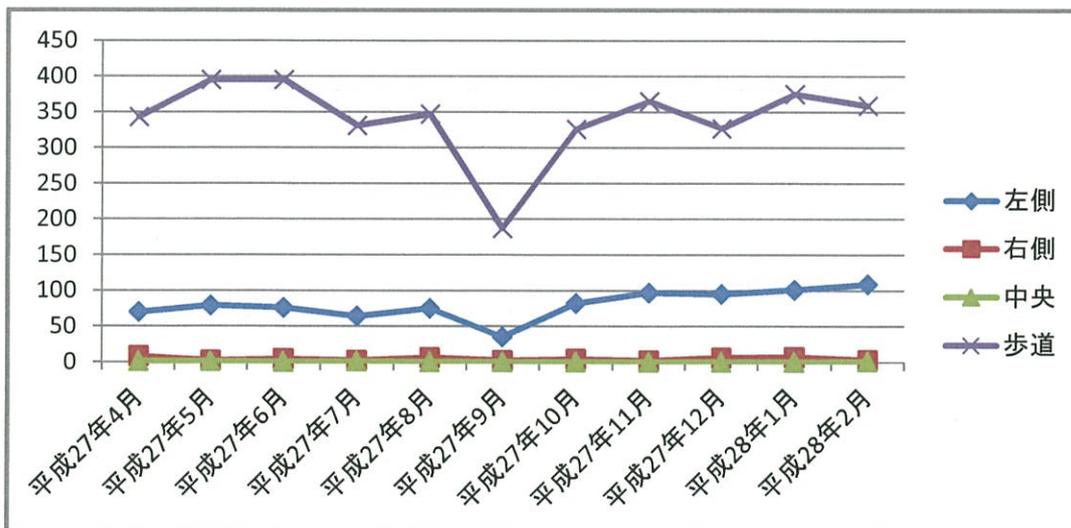
危険運転行為  
(歩道上)

調査期間 2/1~29

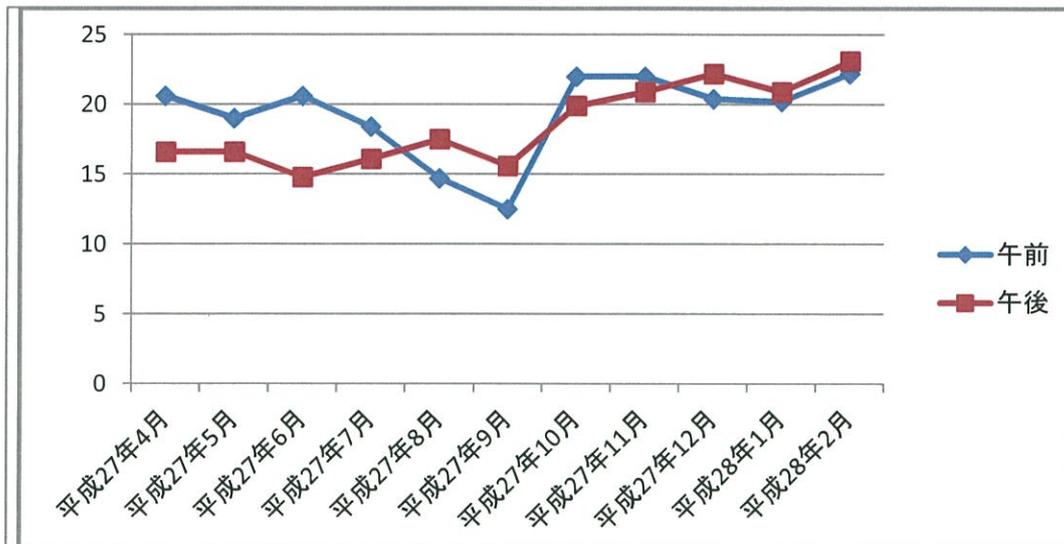
\* 1 比率内訳: 上り坂49・下り坂3



走行空間 午前 (台数)



走行空間 午後 (台数)



車道左側走行率 (%)



## 自転車利用実態定点調査報告（B地点）

平成28年3月

（一財）日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成28年2月25日  
[午前]9:00～10:00

**調査場所** ・ 白金幼稚園前（庭園美術館西交差点(首都高速目黒線直下)から70m程の上り坂)

**概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り上り4車線及び歩道:幅員3.1m  
[一部歩道橋橋脚部分1.5mあり])  
調査対象外(反対側上り歩道)



上り線車道	歩道	← } ↑	対象外 対象エリア
	←直進・右折レーン		
	←直進レーン		
	←左折レーン		
	←左折レーン		
	歩道		
	白金幼稚園		

調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態調査記録簿

No.	走行空間				車種	乗客	乗客	乗客	乗客	危険運転行為				
	歩道	車道左側	車道中央	車道右側						肩に荷物	車道中央走行	片手運転	ハンドルに荷物	立ち漕ぎ
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														

調査日時:	平成 年 月 日 ( )
天気:	気温: 湿度:
調査時間:	

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、26%であり、また、車道中央走行率は、12%であり、依然、歩道を通行する自転車が、全体の6割強を占めている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(7件)・車道中央走行(6件)・片手運転(4件)・ハンドルに荷物(3件)・立ち漕ぎ・子乗せ後部席に荷物・過積載・両手離し運転(各1件)の順となっている。

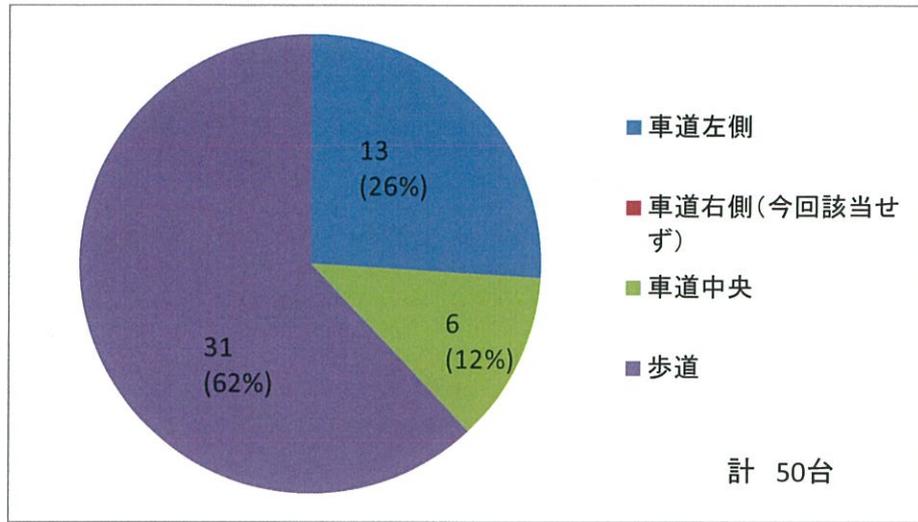
【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の2/26午前)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

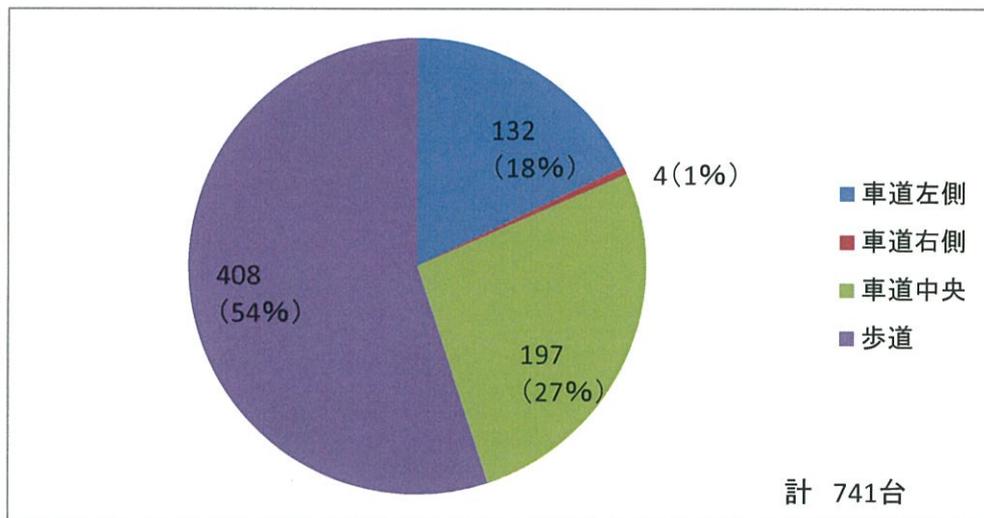
今回(26%)に対し、前回(13%)の2倍の水準  
 上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・26%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・33%)の8割の水準





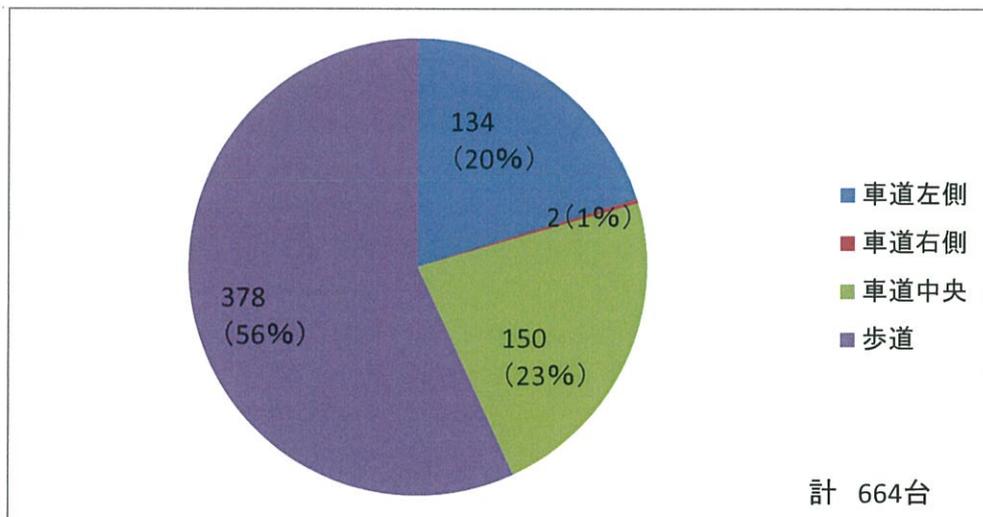
走行空間

\* 参考)



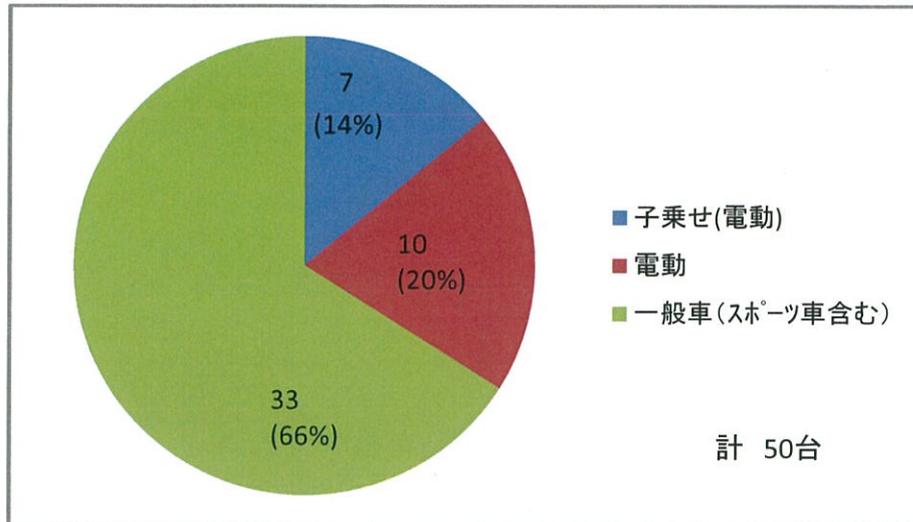
走行空間

調査期間 26.7~27.5 (道路交通法改正前)

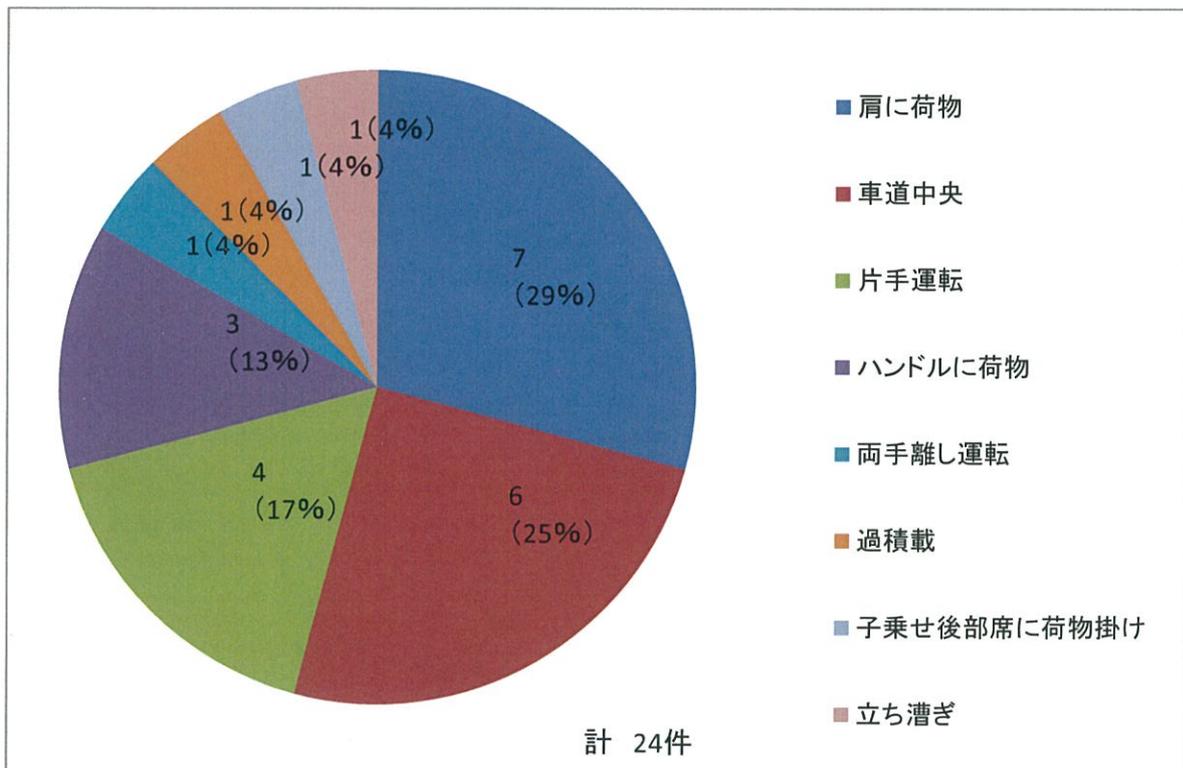


走行空間

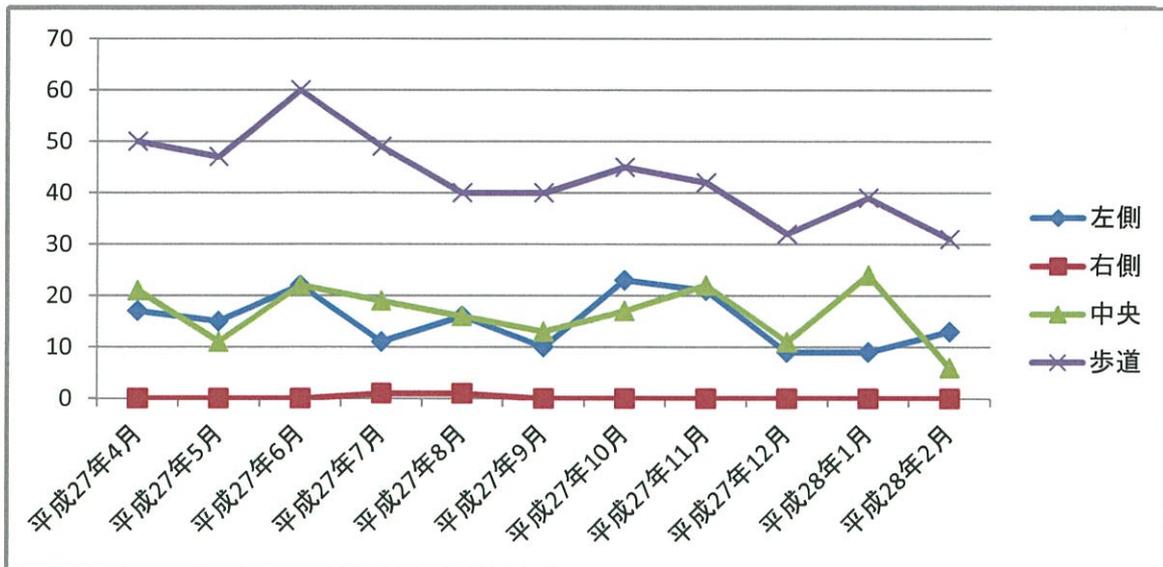
調査期間 27.6~28.2 (道路交通法改正後)



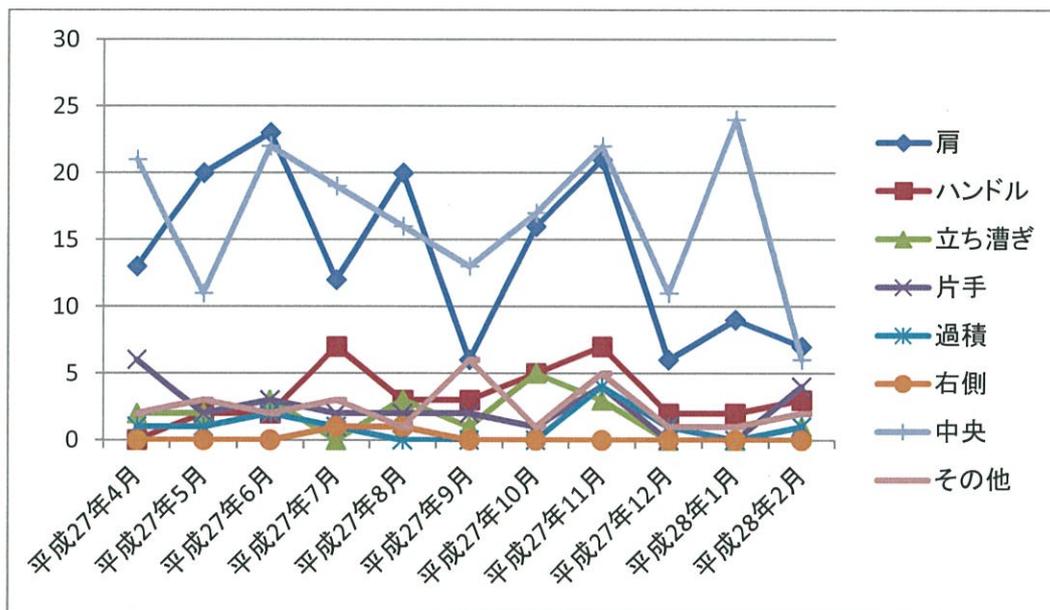
車 種



危険運転行為 (違反行為を含む)



走行空間 (台)



危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)